

林業専用道等を核とした集約化支援 (もっと施業しましょう)

鳥取県西部総合事務所
日野振興センター日野振興局
農林業振興課

日野郡の間伐実施状況

【要整備森林の奥地化】

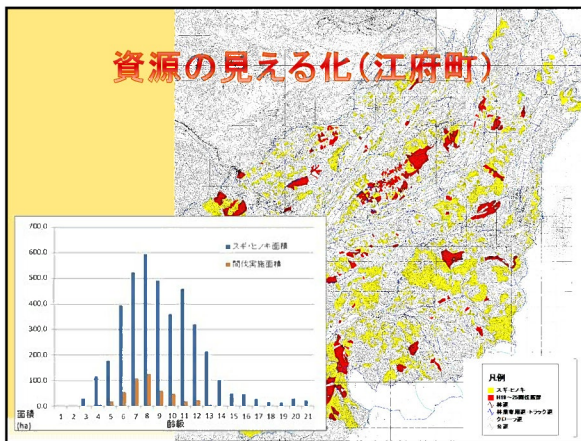
日南町 27%

【間伐遅れ】

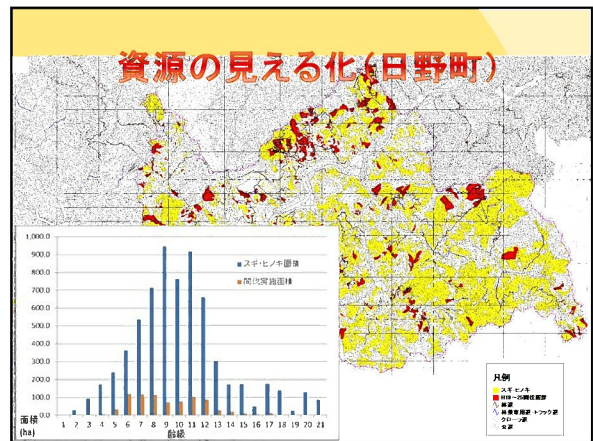
江府町 12%

日野町 12%

資源の見える化(江府町)



資源の見える化(日野町)



現状と課題(森林組合)

●プランナーとしての人材が不足しており、効果的な路網計画が策定できない

●実行力のある経営計画が策定されず、既設路網沿線のみ
に森林施業が集中

●路網整備が遅れている区域で森林整備が進んでいない

現状と課題(町)

●林業に積極的に関わろうとする意識が薄い

●森林整備は全部森林組合まかせ

●路網未整備、集約化の遅れ

普及目標

◆森林組合自ら路網計画を策定できる技術の習得

◆町による森林組合のバックアップ

◆路網を核とした森林整備の推進

森林整備の実施に向けて

森林資源分析

路網整備の必要性について意識共有

手順例としての路網提案

森林組合、町の自主的な路線計画

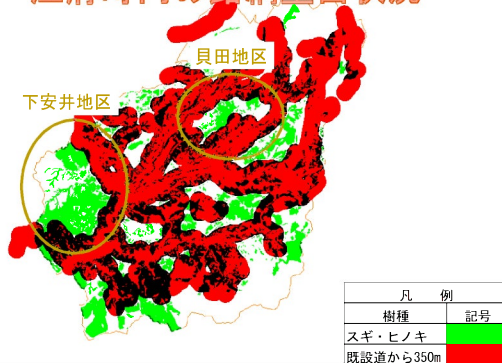
路網を核とした森林整備の実施

路網の種類



図 林野庁近畿中国森林管理局HPより

江府町内の路網空白状況



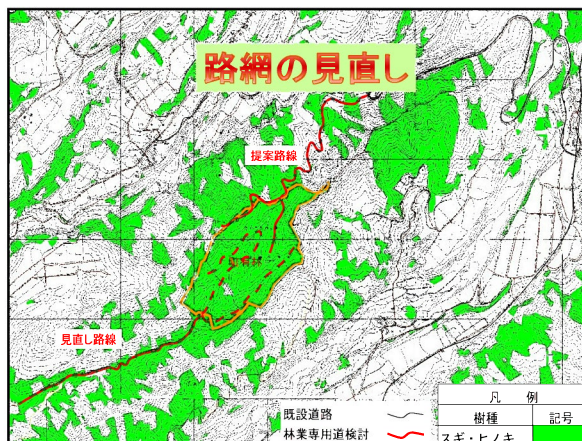
貝田地区の路網提案

路網の提案(県)

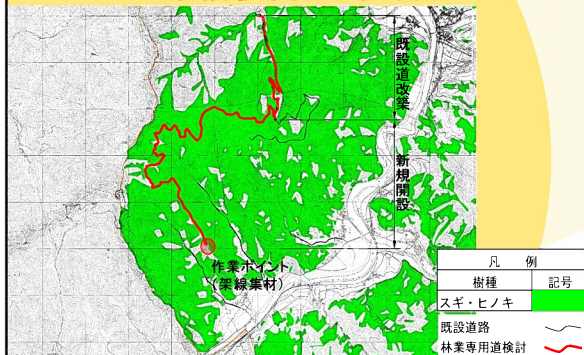
現地踏査、路線検討、机上協議(町、組合、県)

平成27年度事業化

路網の見直し



路網検討(下安井)



森林資源状況説明、路網提案



江府町への説明

鳥取日野森林組合への提案

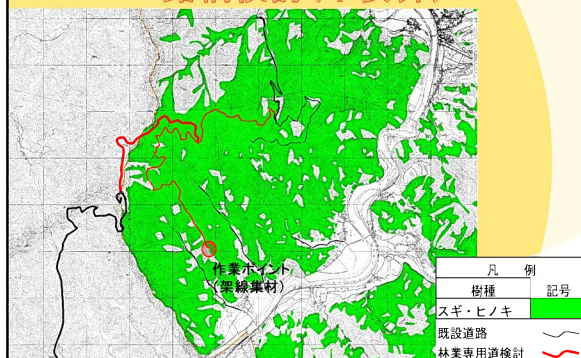


現地踏査

提案しようとする路網計画地へのアクセス道確認



路網検討(下安井)

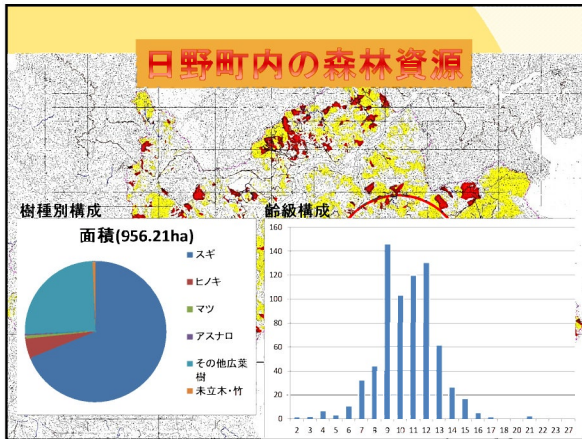


現在の状況(下安井)

- 計画路線のルート決定
- 鳥取日野森林組合へ提案し、組合として事業主体になることも可能という意向がある。
- 線形上の森林所有者に説明し、賛同を得た。
- 洲河崎地内において、計画路線周辺に経営計画が策定されている。

今後の流れ(下安井)

- 実施主体の決定
- 管理組合をはじめ、地元関係者への計画説明
- 計画路線にかかる受益者等、関係者が集まり、利用区域の確認、負担割合を協議
- 森林組合による要整備森林の集約化
- 適切な森林整備の実施



- ### 普及成果
- 森林組合自ら路網計画を策定できる技術の習得
 - > 路線計画困難地における検討手順の確認
 - > 地形が急峻な地形でも路網が整備できることの理解
 - > 路網計画への積極的な取り組み姿勢の形成
 - 町による森林組合のバックアップ
 - > 森林整備を行わなければならないという意識の明確化
 - > 森林整備に向けて積極的に森林組合をサポートしていく必要があることを認識
 - > 町が中心となった路網整備意識の形成

- ### 今後の取り組み
- 町、森林組合による自主的な路網計画の策定と実施
(日野町、江府町、鳥取日野森林組合)
 - 町が主体的に林業に取り組もうとする意欲の拡大と、森林組合に対する積極的なバックアップ体制の構築
(江府町、日野町)

ご清聴ありがとうございました。